



賞状を手にする池田さん

輝いています

全国少年少女カヌー大会 入賞

ひと

いけだ あやの の
池田 彩乃 さん

悔しさを推進力に全国大会入賞

パドルを使って船を操り、技術や速さを競うカヌー競技。今年7月、オリンピック選手も輩出するなど、同競技の登竜門ともいわれる「全国少年少女カヌー大会」の女子フラットスラローム部門で5位入賞に輝いたのは、中央東小学校6年生の池田彩乃さん（11歳・中央6丁目）です。弟思いの優しい性格で、読書好きな一見普通の小学生。そんな池田さんがカヌーと出会ったのは2年前のことです。外出時に見かけた戸田ドルフィンカヌースポーツ少年団の体験会で競技用カヌーに試乗すると、「スピードが出て、楽しい」と、入団。週末には活動場所の戸田ボートコースで

カヌーに乗り込み、持ちまへのバランス感覚の良さを生かして、効率的なカヌーの操り方やコース取りを強く意識しながら、腕を磨いてきました。そうして臨んだ昨年の大会では、予選を突破するも決勝では、惜しくも入賞圏外の8位。「来年こそはもっと良い成績を」と、悔しさとともに決意を抱く結果となりました。

山梨県の精進湖で行われた今年の大会には、全国から200人以上の小学生が参加。出場したフラットスラローム部門は、水上の約80メートルにわたって設置された8個のブイの周りを、ゴールまで指示通りに回りタイムを競います。日頃の練習に加え、昨年の大会で敗因となった筋力不足を補うため、大会に向けて半年以上、朝晩のトレーニングを欠かさなかった池田さん。迎えた本番では、1秒未満のタイム差で明暗を分ける接戦のなか、努力の成果も実り、目標だった入賞を果たしました。小学校卒業を目前に控えた池田さんの将来の夢は、作家など感動や希望を与えられる人になることです。これから培った舵取りのセンスと大舞台での経験を糧に、力強く未来へと漕ぎ出していきます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No.18 —



暁斎筆「大江山鬼退治之図」

絹本着色 軸装

河鍋暁斎記念美術館 11月1日(水)~12月23日(土・祝)

「暁斎が描く異形のものたち」展

同時開催「英国の子供たちの見た暁斎」展

開館 = 午前10時~午後4時

休館 = 木曜日 毎月26日~末日、年末年始

ところ = 南町 4-36-4

入館料 = 一般600円 中学生~大学生500円

小学生以下300円

(20人以上の団体は要予約)

詳細 = 同館 ☎441-9780



展覧会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください



大江山の鬼退治の物語を描いた掛軸。大江山の鬼とは京都の近くにある大江山に住む酒顛童子(酒呑童子)の夜の姿で、京の都で姫君や財宝を奪っては鉄の御所へ戻り、酒宴を開いていました。その悪行に、帝が源頼光とその家臣の四天王(渡辺綱、坂田金時、卜部季武、碓井貞光)、そして平井保昌を鬼退治に向かわせます。本図は、



現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ 暁斎

天保2年(1831) ~明治22年(1889)